

# イーストスプリング・ ジャパン中小型厳選 バリュー株ファンド

追加型投信／国内／株式

第1期(決算日 2015年7月27日)

作成対象期間(2014年8月8日～2015年7月27日)

第1期末(2015年7月27日)	
基準価額	12,821円
純資産総額	26,494百万円
(2014年8月8日～2015年7月27日)	
騰落率	28.2%
分配金合計	0円

(注)騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率で表示しています。

当ファンドは、信託約款において運用報告書(全体版)を電磁的方法によりご提供することを定めております。運用報告書(全体版)は、下記の手順でご覧いただけます。なお、書面をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

#### <閲覧方法>

右記[お問い合わせ先]ホームページアドレスにアクセス⇒上部「運用状況」のタブを選択⇒「運用状況一覧」ページを表示⇒当ファンド記載の中にある「運用報告書(全体版)」を選択

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のお引立てにあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「イーストスプリング・ジャパン中小型厳選バリュー株ファンド」は、2015年7月27日に決算を行いました。

当ファンドは、主としてわが国の金融商品取引所に上場されている(上場予定を含みます。)中小型株に実質的に投資を行い、中長期的な信託財産の成長を目指した運用を行います。

当期につきましてもこれに沿った運用を行ってまいりました。ここに、その運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜われますよう、お願い申し上げます。

## イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

### 【お問い合わせ先】

電話番号:03-5224-3400

(受付時間は営業日の午前9時から午後5時まで)

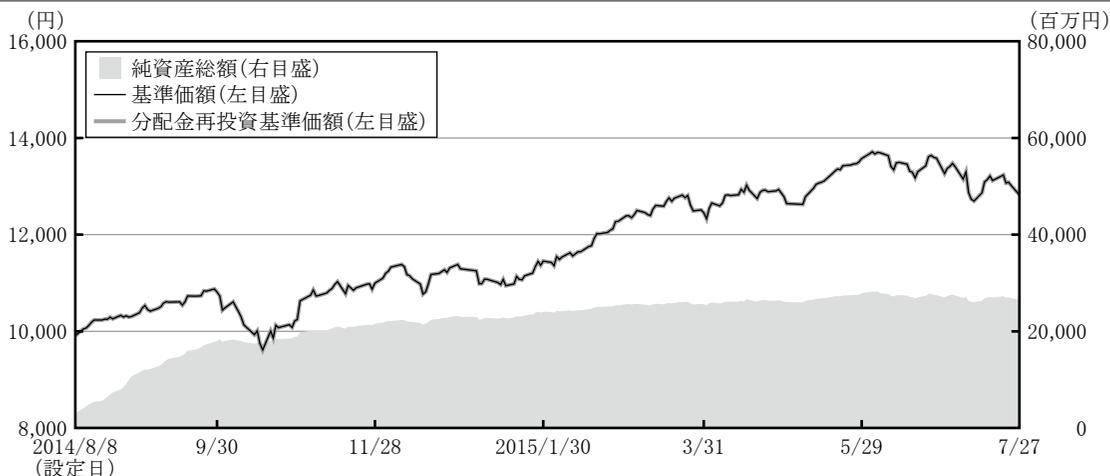
ホームページアドレス: <http://www.eastspring.co.jp/>

〒100-6905

東京都千代田区丸の内2-6-1丸の内パークビルディング

## 運用経過

### 当期中の基準価額等の推移について(第1期:2014年8月8日から2015年7月27日まで)



設定日	10,000円
第1期末	12,821円(既払分配金0円)
騰落率	28.2%(分配金再投資ベース)

(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについては、お客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) 最初の分配金が出るまでの期間においては、基準価額を示す折れ線と分配金再投資基準価額を示す折れ線は重なって表示されます。

(注4) 設定日の基準価額および純資産総額は、当初元本を用いています。

### 基準価額の主な変動要因

2014年中は、世界景気の不透明感や弱い国内経済指標などが嫌気される局面もありましたが、10月末の日銀の量的金融緩和と円安の進行を受けて株価は上昇し、基準価額も上昇しました。2015年に入っても、世界的な金融緩和の動きと株高に加えて、日本企業の業績と配当や自社株買いの増加に対する期待から株価は上昇基調となり、基準価額も上昇しました。

## 1万口当たりの費用明細

項目	当期 2014/8/8 ～2015/7/27		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	217円	1.833%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は、11,813円です。
(投信会社)	(112)	(0.940)	委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(販売会社)	( 99)	(0.841)	
(受託会社)	( 6)	(0.052)	
(b) 売買委託手数料	23	0.196	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株式)	( 23)	(0.196)	
(先物・オプション)	( 0)	(0.000)	
(c) その他費用	0	0.004	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(監査費用)	( 0)	(0.004)	
合計	240	2.033	

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注4) 売買委託手数料及びその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

## 最近5年間の基準価額等の推移について



(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様が利用するコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) 最初の分配金が出るまでの期間においては、基準価額を示す折れ線と分配金再投資基準価額を示す折れ線は重なって表示されます。

\* 当ファンドの運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

		2014/8/8 設定日	2015/7/27 決算日
基準価額	(円)	10,000	12,821
期間分配金合計(税込み)	(円)	—	0
分配金再投資基準価額の騰落率	(%)	—	28.2
純資産総額	(百万円)	3,048	26,494

(注) 設定日の基準価額および純資産総額は、当初元本を用いています。

## 投資環境について

### ○国内株式市況

日本の株式市場は、設定時から2014年10月まで、世界景気の不透明感や弱い国内経済指標のニュースなどが株価を押し下げる局面がありました。10月末以降は、日銀の量的金融緩和、円安の進行、商品価格の下落などにより恩恵が見込まれる銘柄といったテーマ的な個別株の物色が進み、株価は反発しました。2015年に入ると、世界的な金融緩和の動きと株高に加えて、日本企業の好業績と配当や自社株買いの増加に対する期待から株価は力強い上昇基調となりました。特に、日本企業の利益水準や国内労働市場が過去10年で一番良好となったことなどから、一部の内需株のパフォーマンスが好調となりました。しかし、2015年6月以降、ギリシャの債務問題や中国株の急落などを背景に、株価は反落しました。

## ポートフォリオについて

### ○当ファンド

当ファンドは、イーストスプリング日本中小型株式マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として日本の中小型株に投資を行いました。

### ○イーストスプリング日本中小型株式マザーファンド

主として日本の中小型株に投資を行い、中長期的な値上がり益の獲得を目指しました。

当期中の投資行動は、当初のポートフォリオを構築した後、株価の変動による割安度の変化などを考慮して、建築・賃貸管理及び販売を主な事業とする不動産会社、全国展開のドラッグストアチェーンの持株会社などの株式の組入れを上げました。また、建設機械や航空機なども手掛ける総合リース会社、戸建住宅やマンションの分譲・請負工事業を展開する不動産会社などの株式を新たに組入れました。一方で、利益確定のために、配当の大幅な引上げ計画が好感された家具販売会社、自動車部品の製造・販売会社などの株式を全売却しました。

パフォーマンスは、堅調な業績見通しが好感された合成繊維メーカーと電子機器メーカー、利益率の改善を進めるドラッグストアチェーン運営会社の株式保有が大きく貢献しました。一方、低調な業績見通しが嫌気された窓サッシなど建材の製造・販売会社、自動車向けなどの高機能ゴム・樹脂の製造会社の株式保有はマイナスに影響しました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドの運用の基本方針に適合した、公表されている指標が存在しないため、ベンチマークを設けておりません。

## 分配金について

分配金額は、基準価額水準・市況動向等を勘案して、以下の通りとさせていただきます。なお、留保益の運用につきましては、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

### 分配原資の内訳 (1万口当たり、税引前)

項目	第1期	
	2014年8月8日 ～2015年7月27日	
当期分配金 (円)		—
(対基準価額比率) (%)		—
当期の収益 (円)		—
当期の収益以外 (円)		—
翌期繰越分配対象額 (円)		2,821

(注1)「当期の収益」と「当期の収益以外」は円未満は切捨てて表示しているため、合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

(注2)当期分配金の「対基準価額比率」は当期分配金(税引前)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注3)一印は該当がないことを示しています。

## 今後の運用方針について

### ○当ファンド

引き続き、イーストスプリング日本中小型株式マザーファンド受益証券を高位に組入れることにより、信託財産の成長を図ることを目指します。

### ○イーストスプリング日本中小型株式マザーファンド

企業が株主重視の姿勢に基づいて資本効率を改善し、手元資金を有効活用することに投資家の関心が高まっています。最近の配当や自社株買いの増加傾向は堅調な企業業績に支えられてきましたが、コーポレートガバナンス・コードの導入により配当性向引上げの動きがさらに加速すると見込まれています。このような企業行動の望ましい構造変化が、日本株に対する長期的に強気な見方を下支えています。

日本の中小型株式市場には、市場の注目を集めることなく株価が割安な水準に放置されている銘柄が数多く存在し、魅力的な投資機会が豊富にあると考えています。多くの企業の財務状況が良好な状態にあり、事業再編の動きを加速させている企業も見られますが、一方で収益改善の成果が市場で十分に評価されていない企業も存在しています。そのような中から投資機会を見出し、規律ある中長期的なバリュエーション手法に基づいて、市場全体を上回るリターンを得ることを目指しています。

## お知らせ

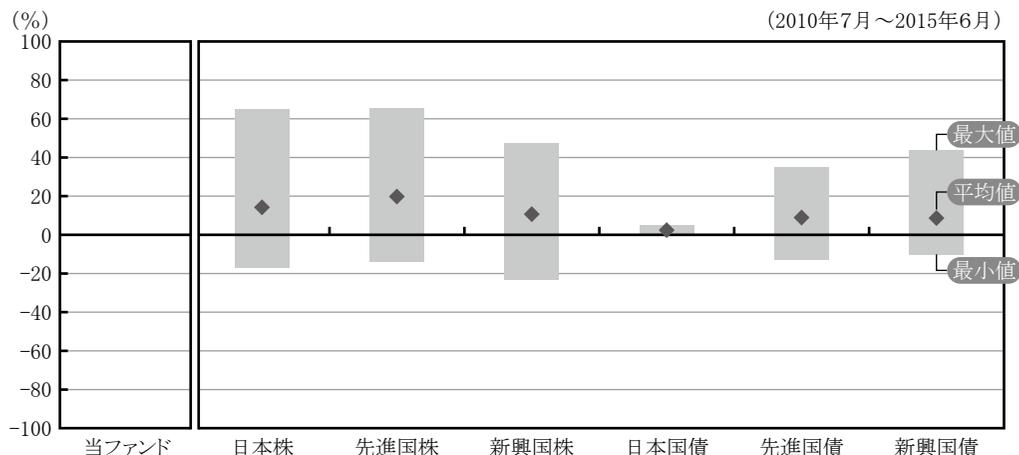
- 金融商品取引法で新たに有価証券と定義された新投資口予約権証券を運用の指図範囲に追加するため、信託約款に所要の変更を行いました。  
(変更日:2014年12月1日)
- デリバティブ取引等にかかるリスク管理方法を定めるため、信託約款に所要の変更を行いました。  
(変更日:2014年12月1日)
- 重大な約款変更や信託契約の解約等において行われる書面決議に伴う手続き(決議要件の緩和、反対者の買取請求の不適用等)について、信託約款に所要の変更を行いました。  
(変更日:2014年12月1日)
- 運用報告書(全体版)の交付に代えて、運用報告書(全体版)に記載すべき事項を電磁的方法による提供を可能とするため、信託約款に所要の変更を行いました。  
(変更日:2014年12月1日)

## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／国内／株式	
信託期間	平成26年8月8日から平成36年7月29日まで	
運用方針	イーストスプリング日本中小型株式マザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてわが国の金融商品取引所に上場されている(上場予定を含みます。)中小型株に投資を行い、中長期的な信託財産の成長を目指した運用を行います。	
主要投資対象	イーストスプリング・ジャパン中小型厳選バリュー株ファンド	イーストスプリング日本中小型株式マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	イーストスプリング日本中小型株式マザーファンド	わが国の金融商品取引所に上場されている(上場予定を含みます。)中小型株を主要投資対象とします。
投資制限	イーストスプリング・ジャパン中小型厳選バリュー株ファンド	<ul style="list-style-type: none"> <li>・株式への実質投資割合には、制限を設けません。</li> <li>・同一銘柄の株式への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。</li> <li>・外貨建資産への投資は、行いません。</li> </ul>
	イーストスプリング日本中小型株式マザーファンド	<ul style="list-style-type: none"> <li>・株式への投資割合には、制限を設けません。</li> <li>・同一銘柄の株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。</li> <li>・外貨建資産への投資は、行いません。</li> </ul>
分配方針	毎決算時(毎年7月27日。休業日の場合は翌営業日。)に、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して分配金額を決定します。分配対象額が少額の場合は、分配を行わないことがあります。	

(参考情報)

代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(%)	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
平均値	—	14.2	19.7	10.6	2.4	8.9	8.6
最大値	—	65.0	65.6	47.3	4.5	34.9	43.7
最小値	—	-17.0	-13.7	-22.9	0.4	-12.7	-10.1

※当ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように、2010年7月から2015年6月の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を、当ファンド及び他の代表的な資産クラスについて表示したものです。当ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。すべての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。

※ファンドの年間騰落率は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

※ファンドの年間騰落率は設定から1年を経過していないため、該当事項はありません。

<各資産クラスの指数>

日本株:東証株価指数(TOPIX)(配当込み)

先進国株:MSCIコクサイ・インデックス(配当込み、円換算ベース)

新興国株:MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込み、円換算ベース)

日本国債:NOMURA-BPI国債

先進国債:シティ世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし・円ベース)

新興国債:JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド(円ベース)

(注)海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースの指数を採用しています。「円換算ベース」は、米ドルベースの指数を当社が円換算したものです。

## ファンドデータ

### 当ファンドの組入資産の内容

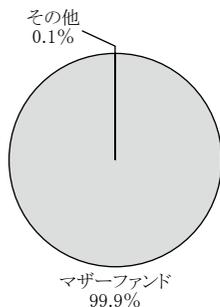
#### ○組入ファンド

(組入銘柄数: 1銘柄)

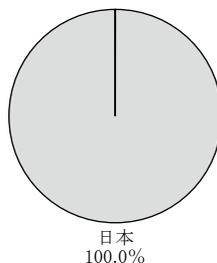
ファンド名	第1期末 2015年7月27日
イーストスプリング日本中小型株式マザーファンド	99.9%

(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

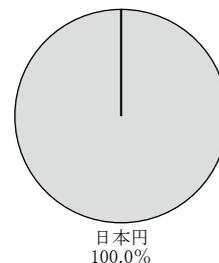
#### ○資産別配分



#### ○国別配分



#### ○通貨別配分



(注1) 比率は当ファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 資産別配分において、未払金等の発生により「その他」の数値がマイナスになることがあります。

### 純資産等

項目	第1期末 2015年7月27日
純資産総額	26,494,820,775円
受益権総口数	20,664,843,969口
1万口当たり基準価額	12,821円

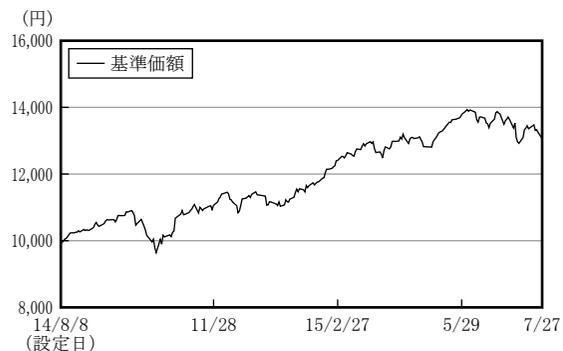
\* 当期中において追加設定元本額は24,595,732,997円、一部解約元本額は6,978,922,073円です。

## 組入上位ファンドの概要

### ◆イーストスプリング日本中小型株式マザーファンド

(計算期間 2014年8月8日～2015年7月27日)

#### ○基準価額の推移



#### ○組入上位10銘柄

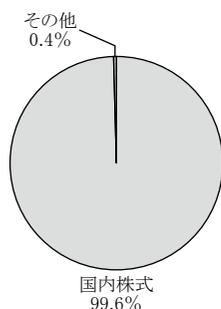
(組入銘柄数:48銘柄)

銘柄名	業種	市場	比率
コカカラファイン	小売業	東京一部	4.1%
カネカ	化学	東京一部	3.6%
興銀リース	その他金融業	東京一部	3.6%
レオパレス21	不動産業	東京一部	3.5%
東京TYフィナンシャルグループ	銀行業	東京一部	3.5%
飯田グループホールディングス	不動産業	東京一部	3.4%
昭和電工	化学	東京一部	3.4%
レンゴー	パルプ・紙	東京一部	3.3%
阿波銀行	銀行業	東京一部	3.0%
コムリ	小売業	東京一部	3.0%

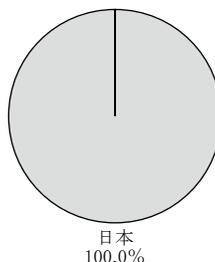
#### ○1万口当たりの費用明細

項目	金額
(a) 売買委託手数料	23円
(株式)	(23)
(先物・オプション)	( 0)
合計	23

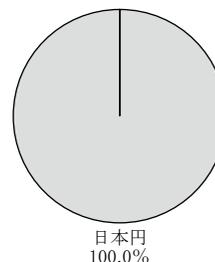
#### ○資産別配分



#### ○国別配分



#### ○通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものであります。

(注2) 1万口当たりの費用明細は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。2ページの項目の概要および注記をご参照ください。

(注3) 組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注4) 組入上位10銘柄、資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する割合、国別配分の比率は組入銘柄の総額に対する割合です。

\* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)でご覧いただけます。

## 指数に関して

### ○「代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

- ・ 東証株価指数(TOPIX)は、株式会社東京証券取引所の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウ及び東証株価指数(TOPIX)の商標又は標章に関するすべての権利は株式会社東京証券取引所が有しています。
- ・ MSCI指数(MSCIコクサイ・インデックス、MSCIエマージング・マーケット・インデックス)はMSCI Inc.が算出している指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。またMSCI Inc.は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- ・ NOMURA-BPIは、野村証券株式会社が公表している指数で、その知的財産権は野村証券株式会社に帰属します。
- ・ シティ世界国債インデックスはCitigroup Index LLCにより開発、算出および公表されている債券インデックスであり、著作権は、Citigroup Index LLCに帰属します。
- ・ JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド(円ベース)はJ.P. Morgan Securities LLCが算出、公表しているインデックスであり、著作権、知的財産権はJ.P. Morgan Securities LLCに帰属します。